インクジェットプリンタ（複合機）

PX-602F

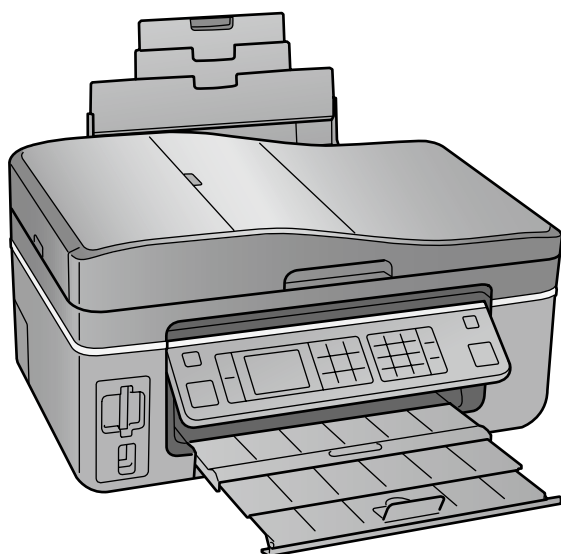
準備ガイド

～はじめにお読みください～

本製品を使用可能な状態にするまでの手順を説明しています。

本体の準備 9

ファクスを使う準備 14

パソコンと接続して使う準備 18

―― 本書は製品の近くに置いてご活用ください。 ――

もくじ

はじめにお読みください

製品使用上のご注意 3

本体の準備

箱の中身を確認 9
設置・電源の接続 10
日時の設定 11
インクカートリッジのセット 12

ファクスを使う準備

電話回線と接続 14
回線種別と呼び出し回数の設定 16
自局設定 17

パソコンと接続して使う準備

接続方法の選択 18
ソフトウェアのインストールと接続 20

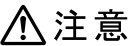
付録

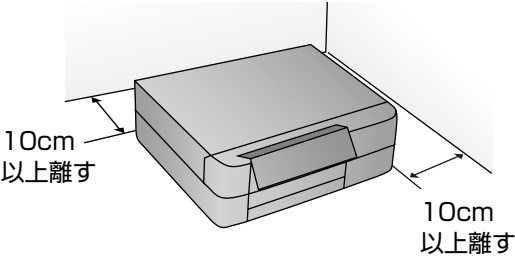
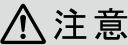
付属のソフトウェアとインストール条件 25
ネットワーク接続に必要な機器 26
ネットワーク環境の確認 28
ファクス設定時の入力文字一覧 30

本書中のマークについて

本書では、以下のマークを用いて重要な事項を記載しています。

ご使用上、必ずお守りいただきたいことを記載しています。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や、動作不良の原因になる可能性があります。

補足情報や制限事項、および知っておくと便利な情報を記載しています。

☞ 関連した内容の参照ページを示しています。

製品使用上のご注意

本製品を安全にお使いいただくために、お使いになる前には必ず本製品の取扱説明書をお読みください。本製品の取扱説明書の内容に反した取り扱いは故障や事故の原因になります。本製品の取扱説明書は、製品の不明点をいつでも解決できるように手元に置いてお使いください。

記号の意味

本製品の取扱説明書では、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作やお取り扱いを次の記号で警告表示しています。内容をご理解の上で本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。

	この記号は、必ず行っていただきたい事項（指示、行為）を示しています。		この記号は、してはいけない行為（禁止行為）を示しています。
	この記号は、分解禁止を示しています。		この記号は、濡れた手で製品に触れることの禁止を示しています。
	この記号は、製品が水に濡れることの禁止を示しています。		この記号は、電源プラグをコンセントから抜くことを示しています。
	この記号は、アース接続して使用することを示しています。		

設置上のご注意

⚠警告

本製品の通風口をふさがないでください。
通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災になるおそれがあります。布などで覆ったり、風通しの悪い場所に設置しないでください。また、右図の設置スペースを確保してください。

⚠注意

本製品を持ち上げる際は、無理のない姿勢で作業してください。
無理な姿勢で持ち上げると、けがをするおそれがあります。

本製品を移動する際は、左右の下部を両手で持ち、水平な状態で移動してください。
傾けたり立てたりすると、スキャナユニットが開いて、けがをするおそれがあります。

不安定な場所、他の機器の振動が伝わる場所に設置・保管しないでください。
落ちたり倒れたりして、けがをするおそれがあります。

油煙やホコリの多い場所、水に濡れやすいなど湿気の多い場所に置かないでください。
感電・火災のおそれがあります。

電波障害について

テレビ・ラジオに近い場所には設置しないでください。
本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）基準に適合しておりますが、微弱な電波は発信しております。近くのテレビ・ラジオに雑音を与えることがあります。

静電気について

静電気の発生しやすい場所でお使いになるときは、静電気防止マットなどを使用して、静電気の発生を防いでください。

電源に関するご注意

⚠警告

電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らずに、電源プラグを持って抜いてください。
コードの損傷やプラグの変形による感電・火災のおそれがあります。

電源プラグは定期的にコンセントから抜いて、刃の根元、および刃と刃の間を清掃してください。
電源プラグを長期間コンセントに差したままにしておくと、電源プラグの刃の根元にホコリが付着し、ショートして火災になるおそれがあります。

電源プラグは刃の根元まで確実に差し込んで使用してください。
感電・火災のおそれがあります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電のおそれがあります。

漏電事故防止のため、接地接続（アース）を行ってください。
アース線（接地線）を取り付けない状態で使用すると、感電･火災のおそれがあります。電源コードのアースを以下のいずれかに取り付けてください。

- 電源コンセントのアース端子
- 銅片などを 65cm 以上地中に埋めたもの
- 接地工事（D 種）を行っている接地端子

アース線の取り付け / 取り外しは、電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。ご使用になる電源コンセントのアースを確認してください。アースが取れないときは、販売店にご相談ください。

AC100V 以外の電源は使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。

電源プラグは、ホコリなどの異物が付着した状態で使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。

電源コードのたこ足配線はしないでください。
発熱して火災になるおそれがあります。
家庭用電源コンセント（AC100V）から直接電源を取ってください。

破損した電源コードを使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。
電源コードが破損したときは、エプソンの修理窓口にご相談ください。
また、電源コードを破損させないために、以下の点を守ってください。

- 電源コードを加工しない
- 電源コードに重いものを載せない
- 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
- 熱器具の近くに配線しない

次のような場所にアース線を接続しないでください。

- ガス管（引火や爆発の危険があります）
- 電話線用アース線および避雷針（落雷時に大量の電気が流れる可能性があるため危険です）
- 水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっているとアースの役目を果たしません）

付属の電源コード以外は使用しないでください。また、付属の電源コードを他の機器に使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。

⚠注意

長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

使用上のご注意

⚠警告

液晶ディスプレイが破損したときは、中の液晶に十分注意してください。
万一以下の状態になったときは、応急処置をしてください。

- 皮膚に付着したときは、付着物をふき取り、水で流し石けんでよく洗い流してください。
- 目に入ったときは、きれいな水で最低 15 分間洗い流した後、医師の診断を受けてください。
- 飲み込んだときは、水で口の中をよく洗浄し、大量の水を飲んで吐き出した後、医師に相談してください。

異物や水などの液体が内部に入ったときは、そのまま使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。
すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談ください。

取扱説明書で指示されている箇所以外の分解は行わないでください。

可燃ガスおよび爆発性ガス等が大気中に存在するおそれのある場所では使用しないでください。また、本製品の内部や周囲で可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。
引火による火災のおそれがあります。

煙が出たり、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。
異常が発生したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談ください。

アルコール、シンナーなどの揮発性物質のある場所や火気のある場所では使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。

製品内部の、取扱説明書で指示されている箇所以外には触れないでください。
感電や火傷のおそれがあります。

お客様による修理は、危険ですから絶対にしないでください。

各種ケーブルは、取扱説明書で指示されている以外の配線をしないでください。
発火による火災のおそれがあります。また、接続した他の機器にも損傷を与えるおそれがあります。

開口部から内部に、金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしないでください。
感電・火災のおそれがあります。

⚠注意

本製品を移動する際は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、すべての配線を外したことを確認してから行ってください。
コードが傷つくなどにより、感電・火災のおそれがあります。

各種ケーブルやオプションを取り付ける際は、取り付ける向きや手順を間違えないでください。
火災やけがのおそれがあります。
取扱説明書の指示に従って、正しく取り付けてください。

印刷用紙の端を手でこすらないでください。
用紙の側面は薄く鋭利なため、けがをするおそれがあります。

本製品の上に乗ったり、重いものを置かないでください。
特に、子供のいる家庭ではご注意ください。
倒れたり壊れたりして、けがをするおそれがあります。また、ガラス部分が割れてけがをするおそれがあります。

電源投入時および印刷中は、排紙ローラ部に指を近付けないでください。
指が排紙ローラに巻き込まれ、けがをするおそれがあります。用紙は、完全に排紙されてから手に取ってください。

本製品を保管・輸送するときは、傾けたり、立てたり、逆さまにしないでください。
インクが漏れるおそれがあります。

インクカートリッジに関するご注意

<table>
<tr><th colspan="4">⚠注意</th></tr>
<tr><td rowspan="3"></td><td rowspan="3">インクが皮膚に付いてしまったり、目や口に入ってしまったときは以下の処置をしてください。
• 皮膚に付着したときは、すぐに水や石けんで洗い流してください。
• 目に入ったときはすぐに水で洗い流してください。そのまま放置すると目の充血や軽い炎症をおこすおそれがあります。異常がある場合は、速やかに医師にご相談ください。
• 口に入ったときは、すぐに吐き出し、速やかに医師に相談してください。</td><td></td><td>インクカートリッジを分解しないでください。
分解するとインクが目に入ったり皮膚に付着するおそれがあります。</td></tr>
<tr><td></td><td>インクカートリッジは強く振らないでください。
強く振ったり振り回したりすると、カートリッジからインクが漏れるおそれがあります。</td></tr>
<tr><td></td><td>インクカートリッジは、子供の手の届かない場所に保管してください。</td></tr>
</table>

取り扱い上のご注意

- インクカートリッジは冷暗所で保管し、個装箱に印刷されている期限までに使用することをお勧めします。また、開封後は6ヵ月以内に使い切ってください。
- インクカートリッジの袋は、本体に装着する直前まで開封しないでください。品質保持のため、真空パックにしています。
- インクカートリッジを寒い所に長時間保管していたときは、3時間以上室温で放置してからお使いください。
- 黄色いフィルムは必ずはがしてからセットしてください。はがさないまま無理にセットすると、正常に印刷できなくなるおそれがあります。なお、その他のフィルムやラベルは絶対にはがさないでください。インクが漏れるおそれがあります。
- インクカートリッジの緑色の基板には触らないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。
- インクカートリッジは、全色セットしてください。全色セットしないと印刷できません。
- 電源がオフの状態でインクカートリッジを交換しないでください。また、プリントヘッドは絶対に手で動かさないでください。故障の原因になります。
- インク充てん中は、電源をオフにしないでください。充てんが不十分で印刷できなくなるおそれがあります。
- インクカートリッジを取り外した状態で本製品を放置したり、インクカートリッジ交換中に電源をオフにしたりしないでください。プリントヘッド（ノズル）が乾燥して印刷できなくなるおそれがあります。
- 本製品のインクカートリッジは、IC チップでインク残量などの情報を管理しているため、使用途中に取り外しても再装着して使用できます。ただし、インクが残り少なくなったインクカートリッジを取り外すと、再装着しても使用できないことがあります。また、再装着の際は、プリンタの信頼性を確保するためにインクが消費されることがあります。
- 使用途中に取り外したインクカートリッジは、インク供給孔部にホコリが付かないように、本製品と同じ環境で、インク供給孔部を下にするか横にして保管してください。なお、インク供給孔内には弁があるため、ふたや栓をする必要はありません。
- 取り外したインクカートリッジはインク供給孔部にインクが付いていることがありますので、周囲を汚さないようにご注意ください。
- 本製品はプリントヘッドの品質を維持するため、インクが完全になくなる前に動作を停止するように設計されており、使用済みインクカートリッジ内に多少のインクが残ります。
- インクカートリッジに再生部品を使用している場合がありますが、製品の機能および性能には影響ありません。
- インクカートリッジを分解または改造しないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。

使用済みインクカートリッジの処分

以下のいずれかの方法で処分してください。

- 回収
  使用済みのインクカートリッジは、資源の有効活用と地球環境保全のため回収にご協力ください。
  ☞『操作ガイド』－「インクカートリッジの回収について」
- 廃棄
  一般家庭でお使いの場合は、ポリ袋などに入れて、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

インク消費について

- プリントヘッドを良好な状態に保つため、印刷時以外にもインクカートリッジ交換時・ヘッドクリーニング時などのメンテナンス動作で全色のインクが消費されます。
- モノクロやグレースケール印刷の場合でも、用紙種類や印刷品質の設定によっては、カラーインクを使った混色の黒で印刷します。

※ 購入直後のインク初期充てんでは、プリントヘッドノズル（インクの吐出孔）の先端部分までインクを満たして印刷できる状態にするため、その分インクを消費します。そのため、初回は 2 回目以降に取り付けるインクカートリッジよりも印刷できる枚数が少なくなることがあります。

電波に関するご注意

機器認定について

本製品には電波法に基づく小電力データ通信システムとして認証を受けている無線設備が内蔵されています。

- 設備名　：WLU3090-D69（RoHS）
- 認証番号：005WWCA0200
  005GZCA0139

周波数について

本製品は、2.4GHz 帯の 2.400GHz から 2.497GHz まで使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

本製品の使用上の注意

本製品の使用周波数は、2.4GHz 帯です。この周波数では、電子レンジなどの産業･科学･医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、アマチュア無線局、免許を要しない特定の小電力無線局（以下、「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と「他の無線局」との間に有害な電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、使用周波数を変更するかまたは本機の運用を停止（無線の発射を停止）してください。
3. 不明な点、その他お困りのことが起きたときは、カラリオインフォメーションセンターまでお問い合わせください。

参考

上記注意事項が記載されているステッカーが同梱されています。本製品の目立つところに貼り付けてください。

本製品は Wi-Fi Alliance の承認を受けた無線機器です。
他メーカーの Wi-Fi 承認済みの無線機器とも通信が可能です。Wi-Fi 対応製品の詳細は Wi-Fi Alliance のホームページ（http://www.wi-fi.org）をご参照ください。

この無線機器は 2.4GHz 帯を使用します。変調方式として DS-SS、OFDM 変調方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。全帯域を使用し周波数変更が可能です。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。
この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
本装置の接続において指定ケーブルを使用しない場合、VCCI ルールの限界値を超えることが考えられますので、必ず指定されたケーブルを使用してください。

本製品の使用時におけるセキュリティに関するご注意

お客様の権利（プライバシー保護）に関する重要な事項です。
本製品などの無線 LAN 製品では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。
その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、

- ID やパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報
- メールの内容

などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、

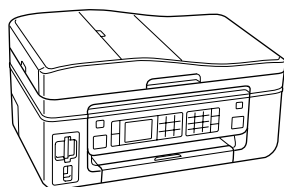
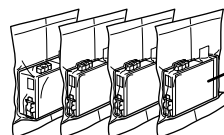
- 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
- 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
- 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
- コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

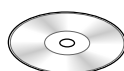
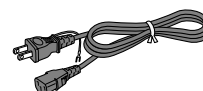
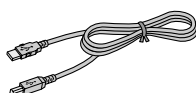
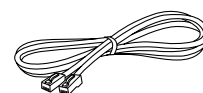
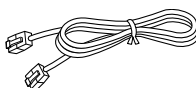
などの行為をされてしまう可能性があります。
本来、無線 LAN カードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。
無線 LAN 製品は、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定が施されていない場合があります。
従って、お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線 LAN カードや無線アクセスポイントをご使用になる前に、必ず無線 LAN 製品のセキュリティに関するすべての設定をマニュアルに従って行ってください。
なお、無線 LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用ください。

※ セキュリティ対策を施さず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、弊社は、これによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

本製品のセキュリティの設定などについて、お客様ご自身で対処できない場合には、「おうちプリント訪問サービス」（有償）をご利用ください。
☞裏表紙「本製品に関するお問い合わせ先」
弊社では、お客様がセキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

箱の中身を確認

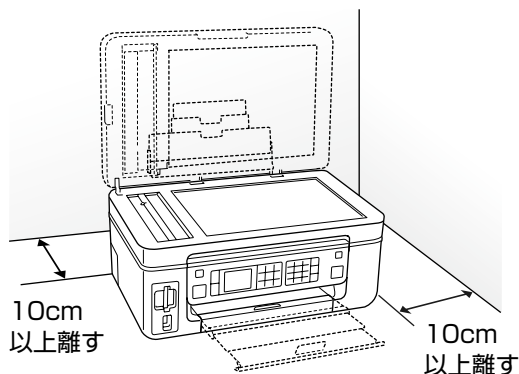
本製品を箱から取り出して、中身を確認します。
万一、不足や損傷しているものがあるときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

□ 本体
※ ご使用前に、本体に貼られている保護テープや保護材をすべて取り外してください。

本体に装着する直前まで開封しないでください。品質保持のため、真空パックにしています。

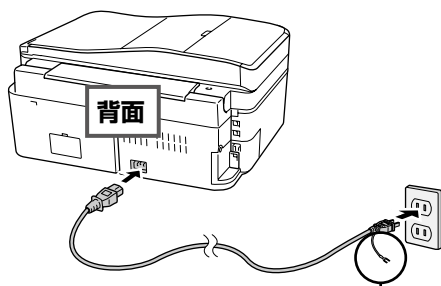
□ インクカートリッジ（4 色）

□ ソフトウェア CD-ROM
※ ソフトウェアと電子マニュアルが収録されています。

□ 電源コード

□ USB ケーブル
※ 本製品を USB 接続するときや無線 LAN の設定をするときに使用します。有線 LAN 接続するときは不要です。

□ Ethernet（LAN）ケーブル
※ 本製品を有線 LAN で接続するときに使用します。無線 LAN・USB 接続するときは不要です。

□ モジュラケーブル（6 極 2 芯タイプ）

□ 準備ガイド（本書）
□ 操作ガイド
□ 周波数のご注意が書かれたステッカー
※本製品の目に付く場所にお貼りください。
□ 保証書

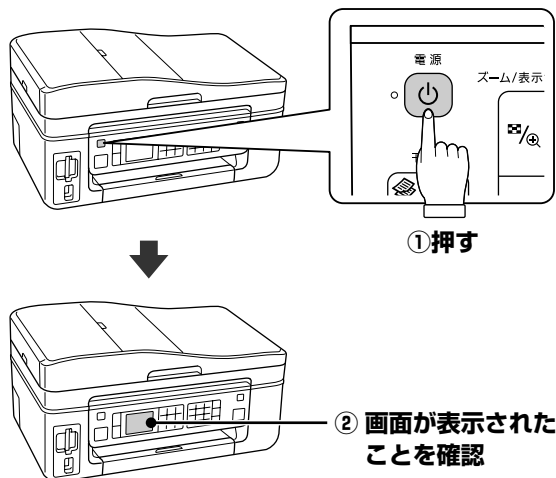
設置・電源の接続

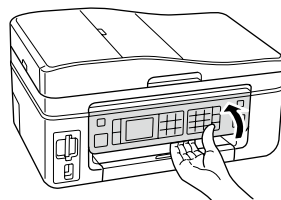
本製品の設置場所を決めて、電源を接続します。

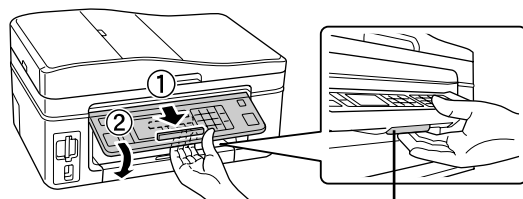
1 設置場所を決めます。

2 電源コードを接続します。

> ⚠警告
> AC100V以外の電源は使用しないでください。

参考

漏電による事故防止について
本製品の電源コードには、アース線（接地線）が付いています。アース線を接地すると、万が一製品が漏電したときに、電気を逃がし感電事故を防止できます。コンセントにアースの接続端子がない場合は、アース線端子付きのコンセントに変更していただくことをお勧めします。コンセントの変更については、お近くの電気工事店にご相談ください。アース線が接地できない場合でも、通常は感電の危険はありません。

3 電源をオンにします。

4 操作しやすいように、操作パネルの角度を調整します。

<パネルを上げる>

パネル下の開口部に手を入れて引き上げる

<パネルを下げる>

必ずパネル裏側のレバーを引きながら下げる

以上で、操作は終了です。

日時の設定

ファクス使用時に必要な日時を設定します。
【◁】か【▷】ボタンで変更する箇所に移動して、表示形式や数字などを選択・入力します。

1 日付の表示形式を選択します。

［月．日．年］・［日．月．年］・［年．月．日］から選択してください。

2 日付を設定します。

日付設定が終わったら、【▷】ボタンを押して時刻設定に移動します。

3 時刻の表示形式を選択します。

［12h］・［24h］から選択してください。
※［12h］は 12 時間表示、［24h］は 24 時間表示です。

選択

4 時刻を設定します。

12 時間表示のときは、[AM]・[PM] も選択します。

5 すべての設定が終わったら、【OK】ボタンを押します。

以上で、操作は終了です。

設定した日時は停電などにより、ずれることがあります。そのようなときは以下の手順で、手順 1 の画面を表示して設定し直します。

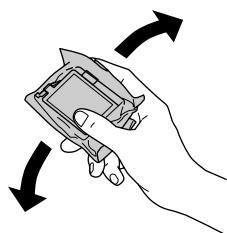
① 【モード】ボタンを押す。
② 【△】【▽】【◁】【▷】ボタンで［セットアップ］を選択して【OK】ボタンを押す。
③ 【◁】か【▷】ボタンで［プリンタの基本設定］を選択して【OK】ボタンを押す。
④ 【△】か【▽】ボタンで［日付 / 時刻設定］を選択して【OK】ボタンを押す。

インクカートリッジのセット

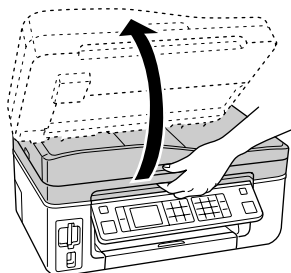
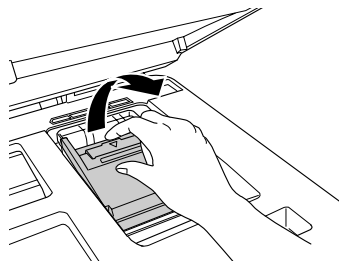
インクカートリッジを取り付けて、インクの初期充てんを行います。

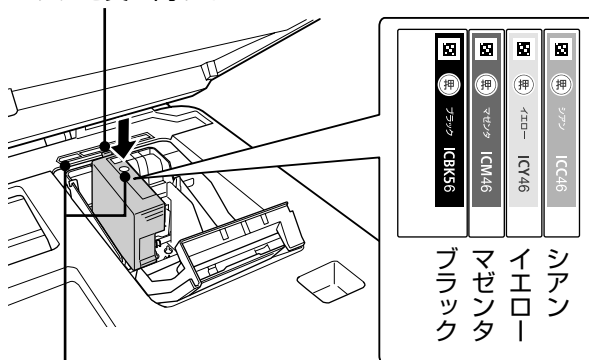
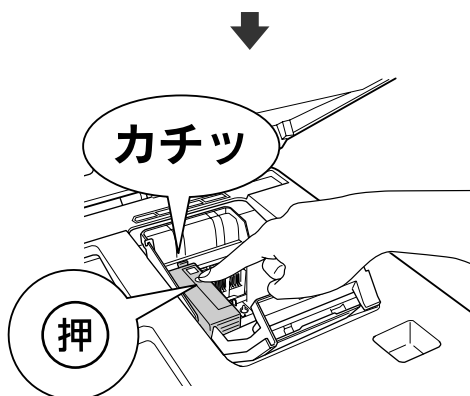
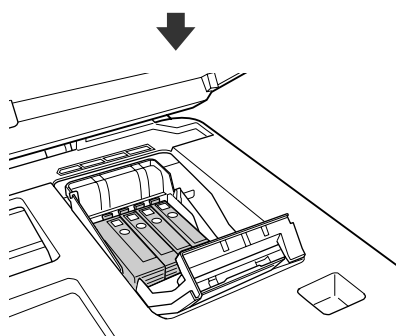
⚠注意
スキャナユニットの開閉の際には、指などを挟まないように注意してください。特に、スキャナユニットの背面には手を近付けないようにしてください。

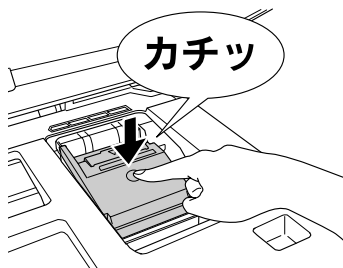
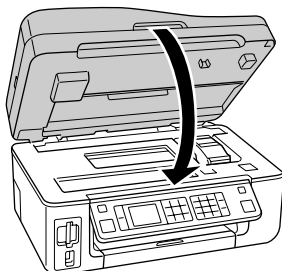
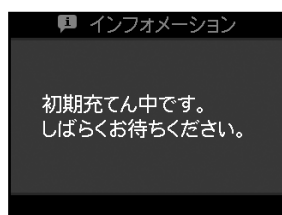
!重要
- スキャナユニットの開閉は、原稿カバーを閉じた状態で行ってください。
- スキャナユニットを開く際には、原稿カバーの上に物を置かないでください。
- 製品の内部は、操作部分（グレーで示した部分）以外には手を触れないでください。

1 インクカートリッジを４～５回振って、袋から取り出します。

2 黄色いフィルムのみをはがします。

黄色いフィルムのみをはがす
（他のフィルムやラベルははがさない）

3 スキャナユニットを開けます。

4 カートリッジカバーを開けます。

5 ラベルの色とセット位置を確認して、４色すべてのインクカートリッジをセットします。

フックを奥に向ける

本体のラベルの色を確認して挿入

しっかりと押し込む

４本すべてをセットする

6 カートリッジカバーをしっかりと閉じます。

7 スキャナユニットを閉じます。

8 【OK】ボタンを押して、インクの初期充てんを開始します。

電源を切らない

約４分

※ 環境によって充てん時間は変わります。

参考

- 購入直後のインク初期充てんでは、プリントヘッドノズル（インクの吐出孔）の先端部分までインクを満たして印刷できる状態にするため、その分インクを消費します。そのため、初回は２回目以降に取り付けるインクカートリッジよりも印刷できる枚数が少なくなることがあります。
- カタログなどで公表されている印刷コストは、JEITA（社団法人電子情報技術産業協会）のガイドラインに基づき、２回目以降のカートリッジで算出しています。

以上で、操作は終了です。
次ページの「ファクスを使う準備」にお進みください。

電話回線と接続

ファクスとして使用するには、本製品を電話回線に接続する必要があります。

対応回線

本製品は一般加入電話回線（PSTN）で使用できます。
ただし、以下のシステムや電話回線では使用できないことがあります。

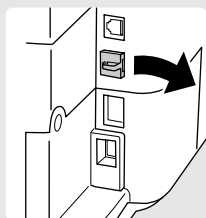
- 構内交換機（PBX＊）を使用した内線電話システム
- ADSL や光ファイバーなどの IP 電話回線
- 各種サービス（キャッチホンなど）の提供を受けている電話回線
- デジタル回線（ISDN）
- 加入電話回線との間にターミナルアダプタ・VoIP アダプタ・スプリッタ・ADSL ルータなどの各種アダプタを接続しているとき

＊：企業などの内線電話システムで使われている回線で、外線発信するときに電話番号の最初に 0 などの外線発信番号を付けて通話する回線のこと。

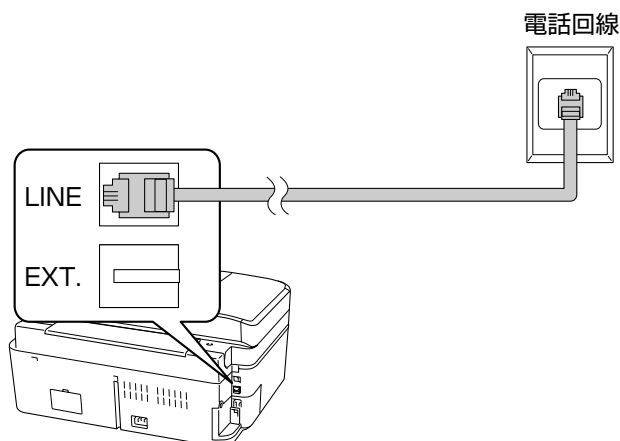
その他、電話回線の状況や地域などの条件によって使用できないことがあります。
また、ドアホン・ビジネスホンには対応していません。

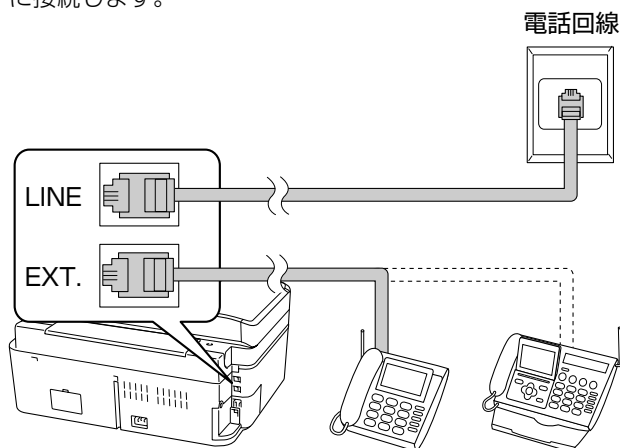
接続方法

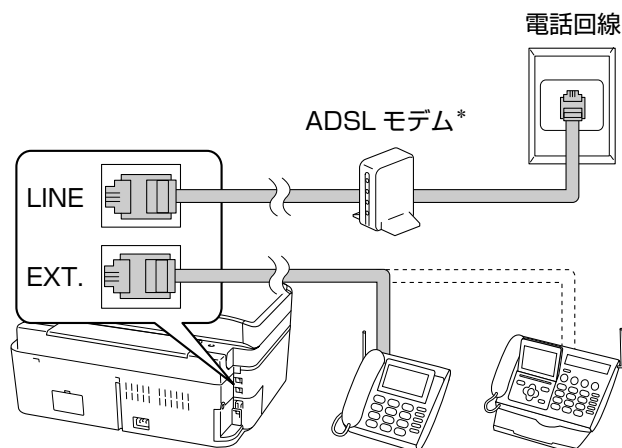
！重要

- 本書で説明している接続方法は代表的な例です。
  すべての接続方法を保証するものではありません。
- 外付け電話機を接続するときは、EXT. ポートのキャップを取り外してください。外付け電話機を使用しないときは、キャップを取り外さないでください。

一般回線に接続する場合

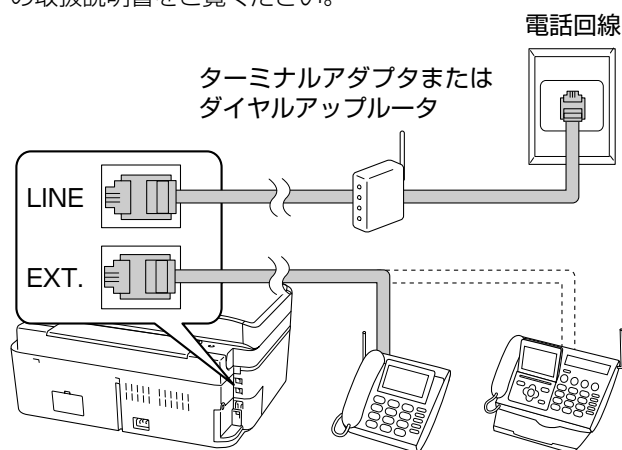
電話回線を LINE ポートに接続します。

注 意
EXT. ポートには接続しないでください。

一般回線に接続して外付電話機を接続する場合

電話回線を LINE ポートに、外付け電話機を EXT. ポートに接続します。

ADSL 回線に接続する場合

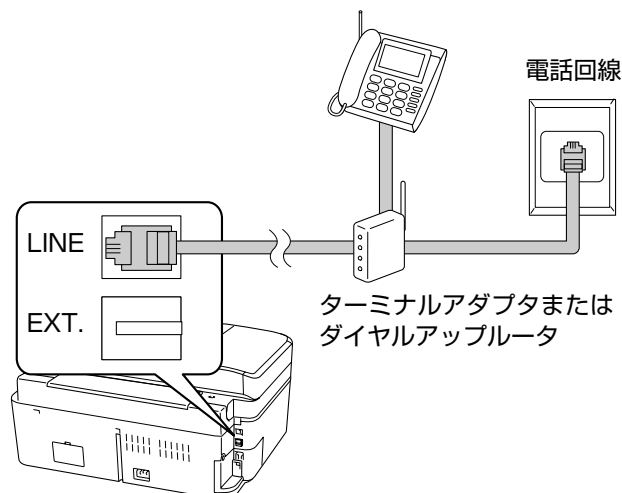
ADSL モデムの電話機ポート*を LINE ポートに、外付け電話機を EXT. ポートに接続します。
詳しくは ADSL モデムの取扱説明書をご覧ください。

＊：ADSL モデムの機種によっては、別途スプリッタなどが必要になることがあります。また、ADSL モデムのポート名称は機種によって異なります（「PHONE」や「TEL」など）。

ISDN 回線に接続する場合（電話番号が 1 つのとき）

ターミナルアダプタまたはダイヤルアップルータのアナログポート*を LINE ポートに、外付け電話機を EXT. ポートに接続します。
詳しくはターミナルアダプタまたはダイヤルアップルータの取扱説明書をご覧ください。

＊：ターミナルアダプタやダイヤルアップルータのポート名称は機種によって異なります（「電話 A」や「TEL1」など）。

ISDN 回線に接続する場合（電話番号が 2 つのとき）

ターミナルアダプタまたはダイヤルアップルータのアナログポート*を LINE ポートに、外付け電話機を EXT. ポートに接続します。
詳しくはターミナルアダプタまたはダイヤルアップルータの取扱説明書をご覧ください。

⚠注意
EXT. ポートには接続しないでください。

＊：ターミナルアダプタやダイヤルアップルータのポート名称は機種によって異なります（「電話 A」や「TEL1」など）。

参考
ケーブル接続のほかに、電話番号の振り分けなどの設定が必要になることもあります。
詳しくはターミナルアダプタ、またはダイヤルアップルータの取扱説明書をご覧ください。

回線種別と呼び出し回数の設定

回線種別の設定

ファクス通信するための回線を設定します。
設定に誤りがあるとファクス送信ができませんので、お使いの回線に合わせて正しく設定してください。

1 ［セットアップ］を選択します。

① 選択
② 決定

2 ［ファクス設定］を選択します。

① 選択
② 決定

3 ［送受信設定］を選択します。

① 選択
② 決定

4 ［回線種別］を選択します。

① 選択
② 設定値表示

③ 項目選択
④ 決定

設定	内容
プッシュ	プッシュ回線（電話機のダイヤルボタンを押したときに「ピッポッパッ」という音がするタイプの回線）
ダイヤル（10PPS）	ダイヤル回線（電話機のダイヤルボタンを押したときに、「カタカタカタ」または「ジージージー」という音がするタイプの回線）
ダイヤル（20PPS）	

参考

使用している回線種別がわからないときは、[プッシュ]→[ダイヤル(20PPS)]→[ダイヤル(10PPS)]の順に設定を変えてダイヤルできるかどうか試してみてください。

以上で、操作は終了です。

呼び出し回数の設定

ナンバーディスプレイサービス（相手の電話番号を電話機に表示するサービス）を利用されているときは、送受信設定の［呼び出し回数］を 7 回以上に設定してください。
「回線種別の設定」手順 4 の画面で［呼び出し回数］を選択し、回線種別と同様の手順で設定します。
詳しくは、以下をご覧ください。
『操作ガイド』－「基本機能・送受信設定」

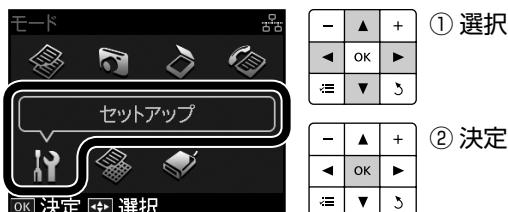
参考

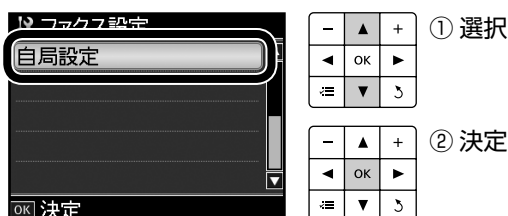
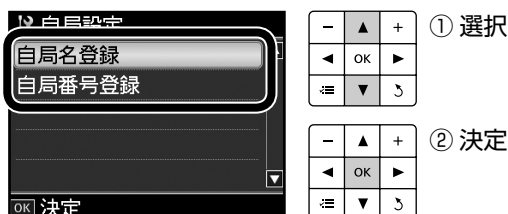
本製品をパソコンと接続して使うときは、ソフトウェアのインストールの最後でも設定できます。

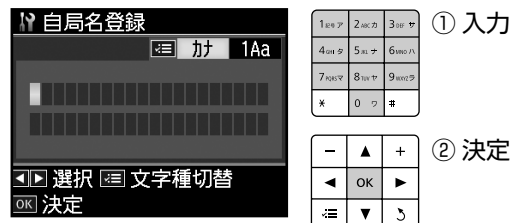
自局設定

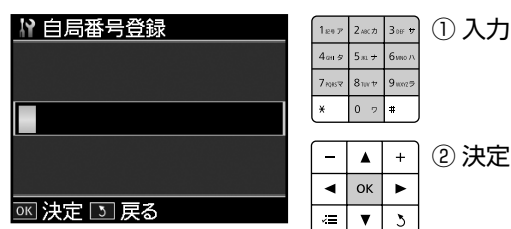
自局名と自局番号を登録します。

本製品をパソコンと接続して使うときは、ソフトウェアのインストールの最後でも設定できます。

1 ［セットアップ］を選択します。

2 ［ファクス設定］を選択します。

3 ［自局設定］を選択します。

4 ［自局名登録］または［自局番号登録］を選択します。

5 名前または番号を入力します。

<自局名>

※ 文字種（カナ・大文字・小文字・数字）を変更するときは【メニュー】ボタンを押します。

<自局番号>

参考

- 【◁】か【▷】ボタンでカーソルを移動させ、文字や数字を挿入することができます。
  また、【短縮ダイヤル / グループダイヤル / 削除】ボタンを押すと、文字を削除（バックスペース）できます。
- 自局名で 40 文字、自局番号で 20 文字まで入力できます。入力できる文字種は、以下のページをご覧ください。
  ☞30 ページ「ファクス設定時の入力文字一覧」

以上で、ファクスを使う準備は終了です。
なお、ファクス機能診断機能を使うと、電話回線との接続状態などをチェックできます。チェック結果は A4 サイズの普通紙に印刷されます。
☞『操作ガイド』－「ファクス機能診断」

！重要

- この状態でファクスの送信はできますが、受信をするには別途受信設定が必要です。
  ☞『操作ガイド』－「ファクス受信」
- ナンバーディスプレイサービス（相手の電話番号を電話機に表示するサービス）を利用されているときは、送受信設定の［呼び出し回数］を 7 回以上に設定してください。
  ☞『操作ガイド』－「基本機能・送受信設定」

パソコンと接続して使うときは、次ページの「パソコンと接続して使う準備」にお進みください。

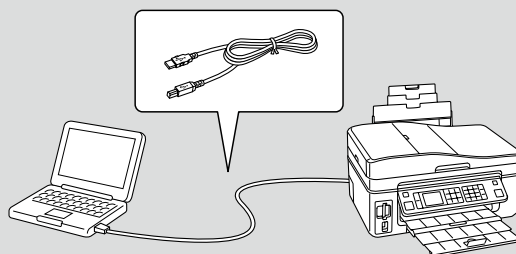
接続方法の選択

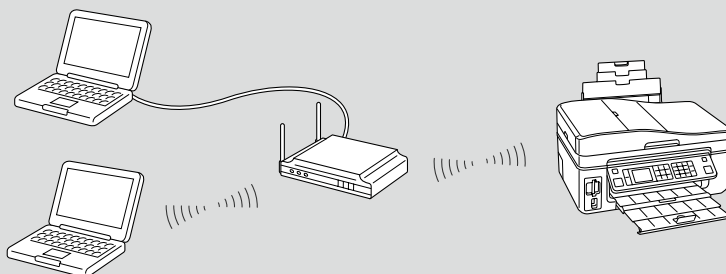
本製品は、USB ケーブルまたはネットワーク（無線 LAN・有線 LAN）でパソコンと接続できます。
お使いの環境にあった接続方法を選択して、「ソフトウェアのインストールと接続」に進んでください。
実際の接続作業は、ソフトウェア CD-ROM に収録されている「Epson Install Navi」の説明に従って行いますので、ここではまだ接続しないでください。

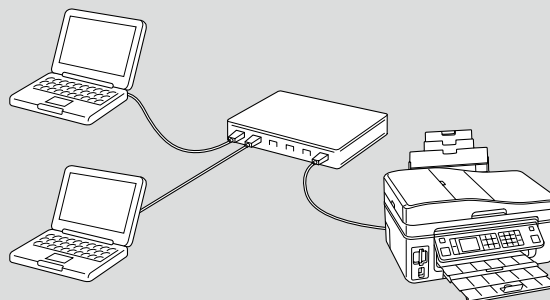
参考

- 本製品で無線 LAN・有線 LAN の接続を同時に利用することはできません。
- 弊社では、専門スタッフが訪問してパソコンと本製品の接続を設定する「おうちプリント訪問サービス」（有償）をご提供しています。
  ☞裏表紙「本製品に関するお問い合わせ先」

USB ケーブルで接続

本製品とパソコンを、付属の USB ケーブルで直接接続します。

無線 LAN で接続

本製品とパソコンを、無線 LAN 機器（アクセスポイント・ブロードバンドルータなど）を介して無線（ワイヤレス）で接続します。

有線 LAN で接続

本製品とパソコンを､ハブ(HUB)またはブロードバンドルータを経由して LAN ケーブルで接続します。

ソフトウェアの
インストールと接続
☞20 ページ

- 本製品をネットワーク接続する前に、パソコンと無線 LAN 機器（アクセスポイント・ブロードバンドルータなど）がネットワーク接続されている必要があります。また、一般に無線 LAN の設定のためには以下の無線 LAN 情報が必要となりますので、事前にご確認ください。
  ・SSID（無線ネットワーク名）
  ・暗号化などのセキュリティ設定情報（パスワードなど）
- パソコンのネットワーク環境を準備できていない方は USB ケーブルで接続してください。

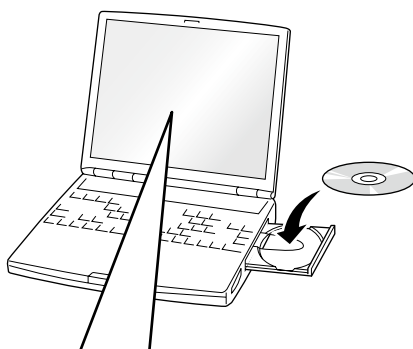
ソフトウェアの
インストールと接続
☞22 ページ

- 本製品をネットワーク接続する前に、パソコンがネットワーク環境に接続されている必要があります。
- パソコンのネットワーク環境を準備できていない方は USB ケーブルで接続してください。

ソフトウェアのインストールと接続

インストールと接続の手順は、パソコンとの接続方法によって異なります。
ネットワーク接続のときは以下のページをご覧ください。
☞22 ページ「ネットワーク（無線 LAN・有線 LAN）で接続」

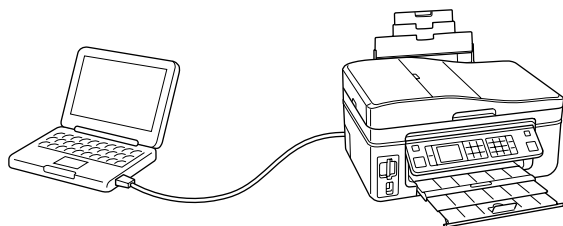
USB ケーブルで接続

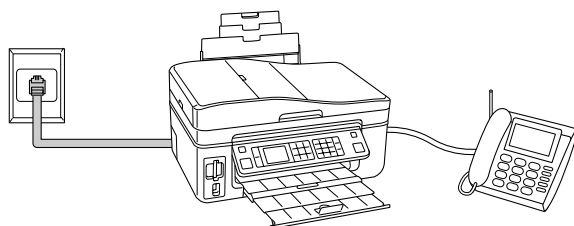
本体の準備が終わったら、以下の設定をします。

本製品に付属のソフトウェア CD-ROM をパソコンにセットして、画面の指示に従ってください。

①ソフトウェアのインストール

インストール条件は、以下のページをご覧ください。
☞25 ページ「付属のソフトウェアとインストール条件」

②パソコンとの接続

パソコンの画面で指示があるまでは、USB ケーブルを接続しないでください。

③ファクスの設定

パソコンからファクスを使うための設定をします。

1 本製品の電源をオフにします。

2 パソコンにソフトウェア CD-ROM をセットします。

参考

- インストール中やパソコンの再起動後に以下の画面が表示されたときは、［ブロックを解除する］をクリックしてください。［ブロックする］または［後で確認する］はクリックしないでください。

- 市販のセキュリティソフトが表示した画面で［ブロックする］や［遮断する］はクリックしないでください。
- 市販のセキュリティソフトの中には、以上の作業をしても通信できないものがあります。そのときは、市販のセキュリティソフトを一旦終了してから、本製品のソフトウェアを使用してください。

3 Mac OS X の場合は、［Install Navi］アイコンをダブルクリックします。

4 以下の画面が表示されたら、［簡単インストール］をクリックします。

参考

- 上記画面が表示されないときは、［マイコンピュータ］（または［コンピュータ］）の中のCD-ROMドライブをダブルクリックし、［EPSETUP］アイコンをダブルクリックします。
- Windows Vistaで「自動再生」画面が表示されたら、[EPSETUP.EXEの実行]をクリックします。続けて表示される「ユーザーアカウント制御」画面では［許可］または［続行］をクリックします。
- 管理者のパスワードが求められたときは、パスワードを入力して操作を続行してください。

5 画面の内容を確認し、［同意する］を選択してから［次へ］をクリックします。

6 画面の内容を確認し、［インストール］をクリックします。

初めてインストールするときは、すべてのソフトウェアをインストールすることをお勧めします。

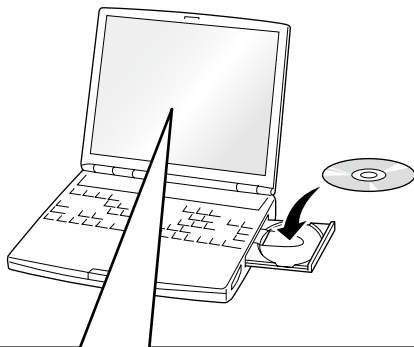
7 以下の画面が表示されたら、［いいえ：USB接続］を選択して、［次へ］をクリックします。

この後は、画面の説明に従って進めてください。

上記画面が表示されたら、ソフトウェアのインストールと接続は完了です。

以上で、本製品をパソコンと接続して使用する準備は終了です。
『操作ガイド』をご覧ください。

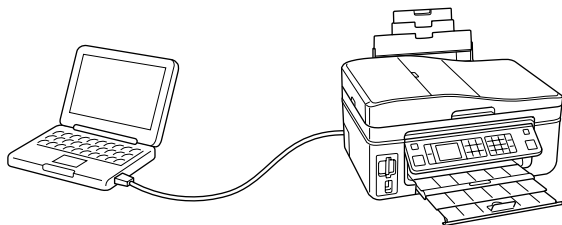
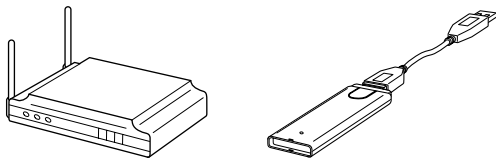
ネットワーク（無線 LAN・有線 LAN）で接続

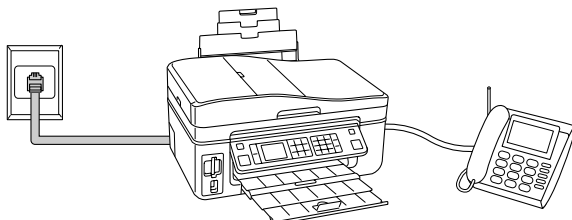
本体の準備が終わったら、以下の設定をします。

本製品に付属のソフトウェア CD-ROM をパソコンにセットして、画面の指示に従ってください。

①ソフトウェアのインストール

インストール条件は、以下のページをご覧ください。
☞25 ページ「付属のソフトウェアとインストール条件」

②パソコンとの接続

パソコンの画面で指示があるまでは、USB ケーブルまたは LAN ケーブルを接続しないでください。

③ネットワークの設定

④ファクスの設定

パソコンからファクスを使うための設定をします。

1 本製品の電源をオンにします。

2 パソコンにソフトウェア CD-ROM をセットします。

参考

- インストール中やパソコンの再起動後に以下の画面が表示されたときは、［ブロックを解除する］をクリックしてください。［ブロックする］または［後で確認する］はクリックしないでください。

- 市販のセキュリティソフトが表示した画面で［ブロックする］や［遮断する］はクリックしないでください。
- 市販のセキュリティソフトの中には、以上の作業をしても通信できないものがあります。そのときは、市販のセキュリティソフトを一旦終了してから、本製品のソフトウェアを使用してください。

3 Mac OS X の場合は、［Install Navi］アイコンをダブルクリックします。

4 以下の画面が表示されたら、［簡単インストール］をクリックします。

参考

- 上記画面が表示されないときは、［マイコンピュータ］（または［コンピュータ］）の中のCD-ROMドライブをダブルクリックし、［EPSETUP］アイコンをダブルクリックします。
- Windows Vistaで「自動再生」画面が表示されたら、[EPSETUP.EXEの実行]をクリックします。続けて表示される「ユーザーアカウント制御」画面では［許可］または［続行］をクリックします。
- 管理者のパスワードが求められたときは、パスワードを入力して操作を続行してください。

5 画面の内容を確認し、［同意する］を選択してから［次へ］をクリックします。

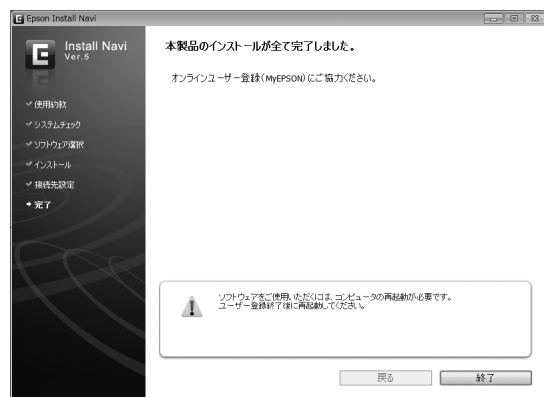
6 画面の内容を確認し、[インストール] をクリックします。

初めてインストールするときは、すべてのソフトウェアをインストールすることをお勧めします。

7 以下の画面が表示されたら、[はい:ネットワーク接続] を選択して、[次へ] をクリックします。

つづく

8　次の画面に進むと同時に、別ウィンドウで『ネットワーク接続アシスタント』が表示されます。

この後は、画面の説明と『ネットワーク接続アシスタント』の説明に従って進めてください。

上記画面が表示されたら、ソフトウェアのインストールと接続は完了です。

以上で、本製品をネットワークで接続して使用する準備は終了です。
『操作ガイド』をご覧ください。

ネットワーク設定の変更

ネットワーク設定の変更は、付属のソフトウェア「EpsonNet Setup」で行います。
「EpsonNet Setup」はプリンタドライバなどと同時にパソコンにインストールされます。

1　「EpsonNet Setup」を起動します。

< Windows >
［スタート］－［すべてのプログラム］または［プログラム］－［EPSON］－［EPSON PX-602F のネットワーク設定］の順にクリックします。

< Mac OS X >
［ハードディスク］－［アプリケーション］－［EpsonNet］－［EpsonNet Setup］－［PX-602F のネットワーク設定］アイコンの順にダブルクリックします。

2　画面の説明に従って設定を変更します。

参考
ネットワーク設定は、本製品の操作パネルでも変更できます。詳しくは、以下をご覧ください。
『操作ガイド』－「各種設定の変更・初期化」

以上で、操作は終了です。

付属のソフトウェアとインストール条件

ソフトウェアについて

本製品に付属のソフトウェアは以下の通りです。付属のソフトウェアの操作方法は各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

- ○ プリンタドライバ
  画像や文書を印刷するためのソフトウェアです。
- ○ スキャナドライバ EPSON Scan（エプソン スキャン）
  画像や文書をスキャンするためのソフトウェアです。
- ○ PC-FAX ドライバ
  パソコンからファクス送信するためのソフトウェアです。
- ○ E-Photo（イーフォト）
  さまざまな用紙に写真を簡単にプリントできるソフトウェアです。
- ○ EPSON Web-To-Page（エプソン ウェブ トゥ ページ）
  Web ページを用紙の幅に収まるように印刷するソフトウェアです。Windows 用だけです。
- ○ 読ん de!! ココ パーソナル
  スキャンした文書の文字データをテキストデータに変換するソフトウェアです。
- ○ Epson Event Manager
  操作パネルのスキャン機能を実行したときの処理方法を設定するソフトウェアです。
- ○ FAX Utility（ファクス ユーティリティ）
  ワープロや表計算などのアプリケーションソフトで作成したデータを、パソコンからファクス送信するソフトウェアです。
  Windows 用だけです。

ソフトウェアのインストール条件

本製品にソフトウェアをインストールする際に必要なシステム条件は以下の通りです。

	Windows	Macintosh
インストール条件	Windows 2000 · Windows XP · Windows Vista ※ Windows Internet Explorer 7.0 以降では、Web ページを用紙の幅に収まるように印刷する機能が標準搭載されているため、EPSON Web-To-Page（エプソンウェブ トゥ ページ）は非対応です。	Mac OS X v10.3.9 以降 ※ ファストユーザスイッチ機能（複数のユーザーが同時に 1 台のパソコンにログオンできる機能）には対応しておりません。
インストール時のアカウントについて	「コンピュータの管理者」アカウント（管理者権限のあるユーザー）でログオンしてください。	
ソフトウェアのバージョンについて	インストール中に、古いバージョンのソフトウェアがインストールされている旨のメッセージが表示されたときは、画面の指示に従ってソフトウェア CD-ROM に収録されている新しいバージョンのソフトウェアをインストールしてください。古いバージョンでは、一部の機能が正常に動作しないことがあります。	

Windows 7 および Mac OS X v10.6 Snow Leopard の対応状況は、エプソンのホームページをご覧ください。
＜ http://www.epson.jp ＞
ソフトウェアのインストール方法については以下のページをご覧ください。
☞20 ページ「ソフトウェアのインストールと接続」

オープンソースソフトウェアについて

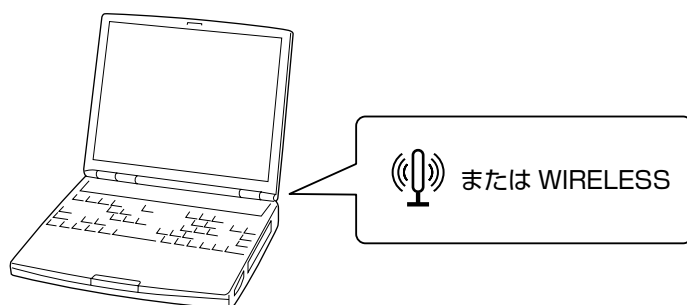
本製品は当社が権利を有するソフトウェアのほかにオープンソースソフトウェアを利用しています。
本製品に利用されているオープンソースソフトウェアの一覧、およびそれらのソフトウェアのライセンス条件は、『パソコンでの印刷・スキャンガイド』（電子マニュアル）－「ネットワーク設定補足ガイド」をご覧ください。

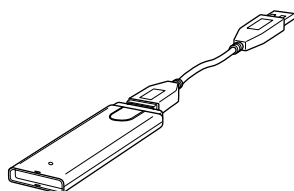
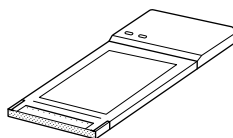
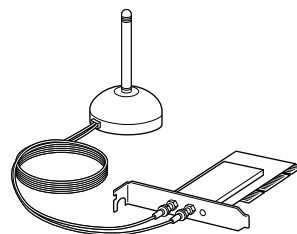
ネットワーク接続に必要な機器

無線 LAN 接続に必要な機器

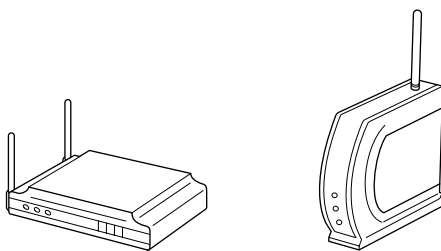
無線 LAN で接続するときは、以下の機器が必要です。

無線 LAN に対応したパソコン

無線 LAN で接続できるパソコンをご用意ください。詳しくは、パソコンのマニュアルをご覧ください。

参考

お使いのパソコンが無線 LAN に対応していないときは、別途無線 LAN アダプタをご用意ください。
無線 LAN アダプタには、「USB タイプ」・「カードタイプ」・「内蔵タイプ」などの種類があります。
なお、パソコンとアクセスポイントを有線 LAN 接続（LAN ケーブルで接続）することでも、本製品とパソコンを無線 LAN 接続できます。

USB タイプ　カードタイプ　内蔵タイプ

※形状はメーカーによって異なります。

アクセスポイント（無線 LAN ルータなど）

パソコンやプリンタを無線でつなぐ中継ポイントです。IEEE802.11b/g に対応した製品をご用意ください。

※形状はメーカーによって異なります。

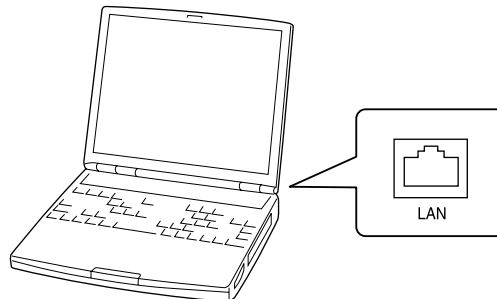
参考

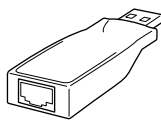
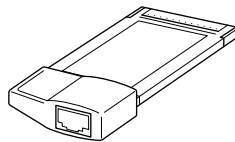
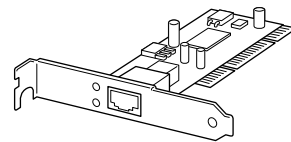
アクセスポイントを使わずに、本製品と無線 LAN に対応したパソコンを直接接続（アドホック接続）することもできます。
アドホック接続については、以下をご覧ください。
『パソコンでの印刷・スキャンガイド』（電子マニュアル）－「ネットワーク設定補足ガイド」

有線 LAN 接続に必要な機器

有線 LAN で接続するときは、以下の機器が必要です。

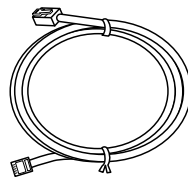
有線 LAN に対応したパソコン

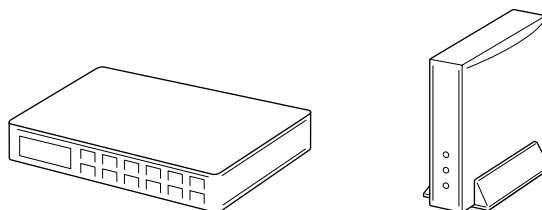
有線 LAN で接続できるパソコンをご用意ください。詳しくは、パソコンのマニュアルをご覧ください。

参考

お使いのパソコンが有線 LAN に対応していないときは、別途有線 LAN アダプタをご用意ください。
有線 LAN アダプタには、「USB タイプ」・「カードタイプ」・「内蔵タイプ」 などの種類があります。

USB タイプ

カードタイプ

内蔵タイプ

※形状はメーカーによって異なります。

LAN ケーブル

本製品とハブ（HUB）またはブロードバンドルータを接続するときに使うケーブルです。

ハブ（HUB）またはブロードバンドルータ

ハブは、各機器の LAN ケーブルを接続するための機器です。
ブロードバンドルータは、1 つのインターネット回線（IP アドレス）を複数のパソコンで共有するための機器です。ハブ機能が搭載されているブロードバンドルータをご用意ください。

※形状はメーカーによって異なります。

ネットワーク環境の確認

パソコンの環境確認

お使いのパソコンがネットワーク環境に接続できているかどうかわからないときは、以下の方法でご確認ください。

Windows での確認手順

① ネットワーク接続状態を示すアイコンを表示します。

Windows Vista： ［スタート］－［ネットワーク］－［ネットワークと共有センター］－［ネットワーク接続の管理］の順にクリックします。

Windows XP： ［スタート］－［コントロールパネル］－［ネットワークとインターネット接続］－［ネットワーク接続］の順にクリックします。

Windows 2000：［マイネットワーク］アイコンを右クリックして、［プロパティ］をクリックします。

② 下表をご覧になり、接続状況を確認します。

Windows Vista	Windows XP・Windows 2000	説明
		パソコンは、アクセスポイントと無線 LAN 接続されています。
		無線 LAN 接続するための機器が認識されていますが、正常に動作していません。 パソコン・アクセスポイントなどのマニュアルをご覧になり、接続設定を行ってください。
		パソコンは、有線 LAN でネットワーク接続されています。
		有線 LAN 接続するための機器が認識されていますが、正常に動作していません。 パソコン・ブロードバンドルータ・ハブなどのマニュアルをご覧になり、接続設定を行ってください。
アイコンなし	アイコンなし	ネットワークに接続するための機器が認識されていません。 パソコンと本製品を USB ケーブルで直接接続するか、ネットワーク接続に必要な機材を用意して、接続設定を行ってください。

Mac OS X での確認手順

① [アップル] ー [システム環境設定] ー [ネットワーク] の順にクリックします。

※ Mac OS X v10.3.9・Mac OS X v10.4.x では、表示された画面で [表示] ー [ネットワークの状況] の順にクリックします。

② 下表をご覧になり、[AirMac]・[Ethernet](または [内蔵 Ethernet])横のランプの色で接続状況を確認します。

< Mac OS X v10.5.x の例>

このランプの色を確認

サービス名	ランプの色	説明
AirMac	緑	パソコンは、アクセスポイントと無線 LAN 接続されています。
AirMac	赤またはオレンジ	無線 LAN 接続するための機器が認識されていますが、正常に動作していません。パソコン・アクセスポイントなどのマニュアルをご覧になり、接続設定を行ってください。
Ethernet(または内蔵 Ethernet)	緑	パソコンは、有線 LAN でネットワーク接続されています。
Ethernet(または内蔵 Ethernet)	赤	有線 LAN 接続するための機器が認識されていますが、正常に動作していません。パソコン・ブロードバンドルータ・ハブなどのマニュアルをご覧になり、接続設定を行ってください。
表示なし	ー	ネットワークに接続するための機器が認識されていません。パソコンと本製品を USB ケーブルで直接接続するか、ネットワーク接続に必要な機材を用意して、接続設定を行ってください。

ファクス設定時の入力文字一覧

ファクス設定で文字や数字を入力するときは、操作パネルのテンキーを使用します。
入力できる文字は下表の通りです。
「カナモード」と「1Aa モード」は【メニュー】ボタン（≡）を押して切り替えます。

カナモード

1Aa モード

テンキー	カナモード	1Aa モード
1	アイウエオ　ァィゥェォ	1 ！＃%&’（）＊+,-. /：；＝？@ _˜
2	カキクケコ	2ABC　abc
3	サシスセソ	3DEF　def
4	タチツテト　ッ	4GHI ghi
5	ナニヌネノ	5JKL jkl
6	ハヒフヘホ	6MNO mno
7	マミムメモ	7PQRS pqrs
8	ヤユヨ　ャュョ	8TUV tuv
9	ラリルレロ	9WXYZ wxyz
0	ワヲン　ー、。	0
＊	゛゜ー	＊
＃	！＃%&’（）＊+,-. /：；＝？@ _˜。「」、・	＃

Windows の表記

- Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Vista® operating system 日本語版
- Microsoft® Windows® 7 operating system 日本語版

本書中では、上記の OS(オペレーティングシステム)をそれぞれ「Windows 2000」「Windows XP」「Windows Vista」「Windows 7」と表記しています。
また、これらの総称として「Windows」を使用しています。

Mac OS の表記

本製品は、Mac OS X v10.3.9 以降に対応しています。
本書中では、上記を「Mac OS X」と表記しています。

商標

Apple、Mac、Macintosh、Mac OS、Bonjour は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。
Microsoft、Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
AOSS™ は株式会社バッファローの商標です。
EPSON および EXCEED YOUR VISION はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
EPSON Scan はセイコーエプソン株式会社の商標です。
EPSON Scan is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

知的財産権

This product incorporates intellectual property owned by Microsoft Corporation and cannot be made, used, sold, offered for sale,imported, or distributed without a license from Microsoft Corporation. Making, using selling, offering for sale, importing or distributing such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft Corporation. We don't grant any such license rights. To obtain license rights from Microsoft, Customer must contact Microsoft at the following web address: IPLG@microsoft.com, and reference ‘WCN License.’
参考訳（本訳文は参考目的に作成したものであり、詳細は上記原文をご確認ください。上記原文と本訳文との間に矛盾がある場合、上記原文の内容が優先します。）
本製品にはマイクロソフトコーポレーションが所有する知的財産権が組み込まれており、マイクロソフトコーポレーションの許諾なしに本製品を製作、販売、輸入または頒布等を行うことはできません。マイクロソフトコーポレーションの許諾なしに本製品以外に当該技術を利用、輸入または頒布等を行うことは禁止されています。当社はこれらの権利に関して一切利用許諾は行いません。マイクロソフトコーポレーションより当該利用許諾を受けるには、お客様はマイクロソフトコーポレーションの WEB サイト（IPLG@microsoft.com）にアクセスし、"WCN License" を参照してください。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。

本製品に関するお問い合わせ先

●エプソンのホームページ　http://www.epson.jp

各種製品情報・ドライバー類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。

インターネット FAQ　エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。
http://www.epson.jp/faq/

● MyEPSON

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンターをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス！	http://myepson.jp/

▶カンタンな質問に答えて会員登録。

●カラリオインフォメーションセンター　製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

【電話番号】　050-3155-8022

【受付時間】　月～金曜日9:00～20:00　土日祝日10:00～17:00（1月1日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-589-5251へお問い合わせください。

●修理品送付・持ち込み依頼先

お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所在地	TEL
札幌修理センター	〒060-0034　札幌市中央区北4条東1-2-3　札幌フコク生命ビル10F　エプソンサービス(株)	011-219-2886
松本修理センター	〒390-1243　松本市神林1563　エプソンサービス(株)	050-3155-7110
東京修理センター	〒191-0012　東京都日野市日野347　エプソンサービス(株)	050-3155-7120
福岡修理センター	〒812-0041　福岡市博多区吉塚8-5-75　初光流通センタービル3F　エプソンサービス(株)	050-3155-7130
沖縄修理センター	〒900-0027　那覇市山下町5-21　沖縄通関社ビル2F　エプソンサービス(株)	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

＊予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承ください。

＊修理について詳しくは、エプソンのホームページでご確認ください。 http://www.epson.jp/support/

◎上記電話番号をご利用できない場合は、下記の電話番号へお問い合わせください。

・松本修理センター：0263-86-7660　・東京修理センター：042-584-8070　・福岡修理センター：092-622-8922

●ドアtoドアサービスに関するお問い合わせ先

ドアtoドアサービスとはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。＊梱包は業者が行います。

【電話番号】　050-3155-7150

【受付時間】　月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日は除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、0263-86-9995へお問い合わせください。

＊ドアtoドアサービスについて詳しくは、エプソンのホームページでご確認ください。http://www.epson.jp/support/

＊平日の17:30～20:00および、土日、祝日、弊社指定休日の9:00～20:00の電話受付は0263-86-9995（365日受付可）にて日通諏訪支店で代行いたします。

●おうちプリント訪問サービス

印刷ができなくてお困りの方のご自宅にお伺いする有償サービスです。

・マルチフォトカラリオ複合機本体設置

・無線LANの接続・設置

TEL050－3155－8666

【受付時間】月曜日～金曜日9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記番号がご利用できない場合は、042－511－2944へお問い合わせください。

＊サービスの概要および注意事項等、詳細事項はエプソンのホームページでご確認ください。http://www.epson.jp/support/houmon/

上記050で始まる電話番号はKDDI株式会社の電話サービスを利用しており、一部のPHSやIP電話事業者からはご利用いただけない場合があります。
上記番号をご利用できない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話（一般回線）からおかけいただくか、各◎印の電話番号におかけください。

●講習会のご案内

詳細はホームページでご確認ください。
http://www.epson.jp/school/

●ショールーム　＊詳細はホームページでもご確認いただけます。http://www.epson.jp/showroom/

エプソンスクエア新宿　〒160-8324　東京都新宿区西新宿6-24-1　西新宿三井ビル1F
【開館時間】月曜日～金曜日　9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

●消耗品のご購入

お近くのエプソン商品取扱店及びエプソンダイレクト（ホームページアドレス http://www.epson.jp/shop/ または通話料無料 0120-545-101）でお買い求めください。（2009年7月現在）

エプソン販売株式会社　〒160-8324　東京都新宿区西新宿6-24-1　西新宿三井ビル24階

セイコーエプソン株式会社　〒392-8502　長野県諏訪市大和3-3-5

コンシューマ（SPC）　2009. 07

411802900

PX-602F　準備ガイド

EPSON